

【2024年度 教育連携委員会 事業報告】

委員長校	神戸大学
副委員長校	大手前大学
委員校 (全:23校)	大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
取組1	単位互換事業の実施
達成目標	各年開放科目数10科目以上
活動指標	送り出し校数・5校/年
取組2	多様な学修機会の提供
達成目標	各年プログラム数5件以上
活動指標	参加者数50名以上/年

目的
<p>加盟校の教育・研究の質を高める「多面的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。</p> <p>さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。</p>

課題⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応			
予算額	取組1	単位互換事業	520,000円
	取組2	多様な学修機会の提供事業	80,000円

期待される効果
<p>1. 単位互換事業の実施</p> <p>(1)「多様なメディアを高度に利用した」授業科目を本格的に取り入れることで、大学間の地理的・時間的課題を解消し、より多くの学生に大学の枠を超えた学びの場の提供をすることによる教育効果の向上。</p> <p>(2)コンソーシアム事業(国際交流、地域連携、社会連携等)に対する学生への意識づけの促進。</p> <p>2. 多様な学修機会の提供</p> <p>(1)加盟校の教育資源を活用する「多面的学びの機会」を継続的に提供することによる、加盟校の教育事業についての相互連携、教育・研究の質の向上。</p> <p>(2)異なる分野の学生等の交流促進による広い視野を持った人材の育成。</p>

【2024年度 教育連携委員会 事業報告(⑦取組1)】

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	
達成目標	各年開放科目数10科目以上	
課題を解決する取組概要	単位互換事業の実施	
活動指標	送り出し校数・5校/年	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
<p>加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に距離的・時間的制約により履修が困難とされてきた授業について、可能な範囲で教育のICT化の工夫を取り入れる。</p> <p>1. 2024年度単位互換事業 兵庫県の地域特性や各大学の特徴を生かした特色的な科目やフィールドワーク等の実践的な科目など80科目以上を開放科目として実施する。</p> <p>2. 単位互換包括協定書締結大学の拡大 協定未締結大学に対して、継続的に協定締結に向けた依頼を行う。</p> <p>3. 単位互換事業の広報活動について HP、ポスター等を活用して単位互換事業の広報活動を継続的に行う。</p> <p>4. 単位互換・共同開講の検討について 2023年度に実施したニーズ調査をもとに、複数校で単位互換制度を活用して、科目を「共同開講」することについて継続して検討する。</p>	<p>&lt;活動内容&gt; 1. 2024年度単位互換事業 2024年度は18校128科目を開放科目として実施。 送り出し校数 11校 61名 【ご参考】 開放科目数 2023年度 17校 82科目 2022年度 15校 85科目 2021年度 11校 43科目 送り出し校数 2023年度 6校 16名 2022年度 8校 42名 2021年度 8校 29名</p> <p>2. 単位互換包括協定書締結大学の拡大 協定未締結大学に対して、協定締結に向けた依頼を行った。(11月中旬締切) 2024年度 協定書締結校:32校 (26大学、1専門職大学、5短期大学・部)</p> <p>3. 単位互換事業の広報活動について 学生への周知拡大を図るため、神戸芸術工科大学の協力のもと、ポスターとチラシを作成中。</p> <p>4. 単位互換・共同開講の検討について 第1回教育連携委員会にて2023年度実施のニーズ調査を踏まえた各校での教養科目の科目開放等の共同開講について、検討事項の共有を行い、引き続き、各校の意見を集約しながら、委員会で検討を重ねていくことを確認した。</p> <p>&lt;自己評価&gt; 2011年度より開始した単位互換事業は本年度18校・128科目の開放科目の提供があり、送り出し校数も11校61名に増加した。加盟校学生への多様な科目の提供機会は年々増加しており、受講者のさらなる拡大に取り組むことで、本事業の意義を深化させ、発展できる展望がある。当初計画通り、大学間連携による多様な教育ニーズの充足に貢献している本事業は、継続すべきと考えている。一方、学生の受講アンケート結果より、課題として、オンライン/オンデマンド授業の増加、実習系科目の増加、単位互換校間の学生交流等のニーズが明らかとなり、従来の形式に捉われない新しい受講形態の提供について今後検討していく必要がある。</p>	<p>&lt;活動内容&gt; 1. 2024年度単位互換事業加盟 2024年度は18校128科目を開放科目として実施。 送り出し校数 11校 61名 【ご参考】 開放科目数 2023年度 17校 82科目 2022年度 15校 85科目 2021年度 11校 43科目 送り出し校数 2023年度 6校 16名 2022年度 8校 42名 2021年度 8校 29名</p> <p>2. 単位互換包括協定書締結大学の拡大 協定未締結大学に対して、協定締結に向けた依頼を行った。(次年度の新規協定締結はなし)</p> <p>2024年度 協定書締結校:32校 (26大学、1専門職大学、5短期大学・部)</p> <p>3. 単位互換事業の広報活動について 学生への周知拡大を図るため、神戸芸術工科大学の協力のもと、ポスターとチラシを作成。</p> <p>4. 単位互換・共同開講の検討について 第1回、および第4回教育連携委員会において、2023年度実施のニーズ調査、各校の現状、他コンソでの取組状況を踏まえ、協議を行った。今後も引き続き、委員会にて適宜検討を重ねていくことを確認した。</p> <p>&lt;報告&gt; 本取組は当初の計画通り、活動指標および、達成目標を達成した。 2025年度は、2024年度作成した、履修案内のリーフレット、ガイダンス用の説明動画、デジタルサイネージ向けの広報動画を広く協定校にて展開する。さらに、2026年度の広報ポスター・チラシについては、公募制を導入し、加盟校学生への多様な教育機会の提供拡大を行う。</p>
達成目標に対する実績	2024年度 18校128科目	2024年度 18校128科目
活動指標に対する実績	2024年度 11校 61名※ ※対面52人、オンデマンド9名(計61名)	2024年度 11校 61名※ ※対面52人、オンデマンド9名(計61名)
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
520,000円	0円	520,000円	482,020円	37,980円

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)

育のICT化や共同開講など、学生への多様な学びの機会の提供について引き続き検討頂きたい。また、興味のある学生に情報が届くよう単位互換制度の認知度向上に向けて、広報について改めて検討頂きたい。

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 教育連携委員会 事業報告（⑦取組2）】

課題③	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	
達成目標	各年プログラム数5件以上	
課題を解決する取組概要	多様な学修機会の提供	
活動指標	参加者数50名以上/年	
計画（4月記載）	自己評価（12月記載）	報告（3月記載）
<p>加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供するするとともに、「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を広く加盟校に運用していただきながら、ICTを活用したコンテンツ制作の支援活動を行う。</p> <p>1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放</p> <p>2024年度においても加盟校の公開講座やセミナー等の多様な学修機会を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放することとする。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を教育連携委員会委員校以外の加盟校にも広く周知するとともに、ICTを活用した授業コンテンツ等について、大学間の情報交換やコンテンツ制作支援につながる活動を引き続き行う。</p>	<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 7校17件の公開講座等を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放し、多様な学修機会を提供した。開放校より報告のあった参加者数は計1,684名であった（情報提供があった7校17講座の集計結果による）。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 本年度も大学eラーニング協議会より、共通基盤教育システムのeラーニングコンテンツの試行継続が認められ加盟校におけるICTを活用できる教育環境を整備した。活用法については教育連携委員会委員校以外の加盟校にも周知し、リメディアル教育等を含めた、ICTを活用した授業コンテンツ等の制作支援につながる活動を行った。</p> <p>&lt;自己評価&gt;</p> <p>加盟校の公開講座等の開放はコンソ加盟校学生・教職員に向けて、広く周知されており、2024年度は当初計画の達成目標（年プログラム数5件以上）ならびに、活動指標（参加者数50人以上）を達成することができた。本プログラムは学生、教職員にとって自学の正規講義や研修では知ることができないジャンルや専門分野の学びの機会を提供する取組として有益であり、継続すべきであると考えている。</p>	<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 11校31件の公開講座等を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放し、多様な学修機会を提供した。開放校より報告のあった参加者数は計2,724名であった（情報提供があった11校31講座の集計結果による）。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を教育連携委員会委員校以外の加盟校にも広く周知するとともに、大学eラーニング協議会フォーラムの案内等の情報提供も行い、ICTを活用した授業コンテンツ等について、大学間の情報交換やコンテンツ制作支援につながるための基盤づくりや活用促進を図った。</p> <p>&lt;報告&gt;</p> <p>上記の通り、2024年度は当初計画の達成目標（各年プログラム数5件以上）ならびに、活動指標（参加者数50人以上）を達成することができた。</p>
達成目標に対する実績	2024年度 7校17件	2024年度 11校31件
活動指標に対する実績	参加者数 1,684人	参加者数 2,724人
自己評価基準：対到達目標 ※	4	—
自己評価基準：対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
80,000円	30,440円	49,560円	30,440円	49,560円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

継続的な加盟校の教育資源の共有と相互連携の取組として、加盟校の公開講座を対面実施以外にもオンライン実施も含めて広く開放し、多様な学生の交流を促進し、学修経験の強化を引き続き図って頂きたい。eラーニングシステムについても、コロナ禍以後、オンライン学修やリメディアル教育など多様なニーズが生まれている。引き続き加盟校に周知を行い、加盟校全体のICTを活用した教育資源向上に期待している。

※ 自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※ 自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 教育連携委員会 事業決算】

(単位:円)

	予算	決算	各プログラム 予算						委員会 予算・決算			
			取組1			取組2						
			単位互換事業			多様な学修機会の提供事業			内訳	予算額	決算額	
			内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額				
収入	会費収入	700,000	523,460		520,000	482,020		80,000	30,440		100,000	11,000
	助成事業収入	0	0									
	受託事業収入	0	0									
	プログラム収入	0	0									
	雑収入	0	0									
	戻入金	0	0									
	計	700,000	523,460		520,000	482,020		80,000	30,440		100,000	11,000
支出	会議費	10,000	0							検討委員会開催費	10,000	
	旅費交通費	10,000	2,130	打合せ交通費		2,130				旅費交通費	10,000	
	通信運搬費	33,000	67,140	チラシ・ポスター発送費		56,140				郵送料	33,000	11,000
	消耗品費	0	600	送付用袋		600						
	新聞図書費	0	0									
	印刷製本費	140,000	41,750	ポスター・チラシ制作費	140,000	41,750						
	光熱水料費	0	0									
	賃借料	0	0									
	保険料	0	0									
	謝金	130,000	80,000	ポスター・チラシデザイン謝金	80,000	80,000	講師等謝金	50,000	0			
	租税公課	0	0									
	支払手数料	4,000	2,200	振込手数料		1,760			440	振込手数料	4,000	
	諸会費	30,000	30,000				eラーニング協議会会費	30,000	30,000			
	委託費	333,000	299,640	単位互換HP更新費	300,000	299,640				各プログラムHPに係る予備費	33,000	
	人件費	0	0									
	接待交際費	0	0									
	支払支援金	0	0									
雑費	10,000	0							委員長校・副委員長校連絡調整等	10,000		
計	700,000	523,460		520,000	482,020		80,000	30,440		100,000	11,000	

収入－支出	176,540
-------	---------